

# 地方創生SDGs 官民連携プラットフォーム活動内容について

資料2

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

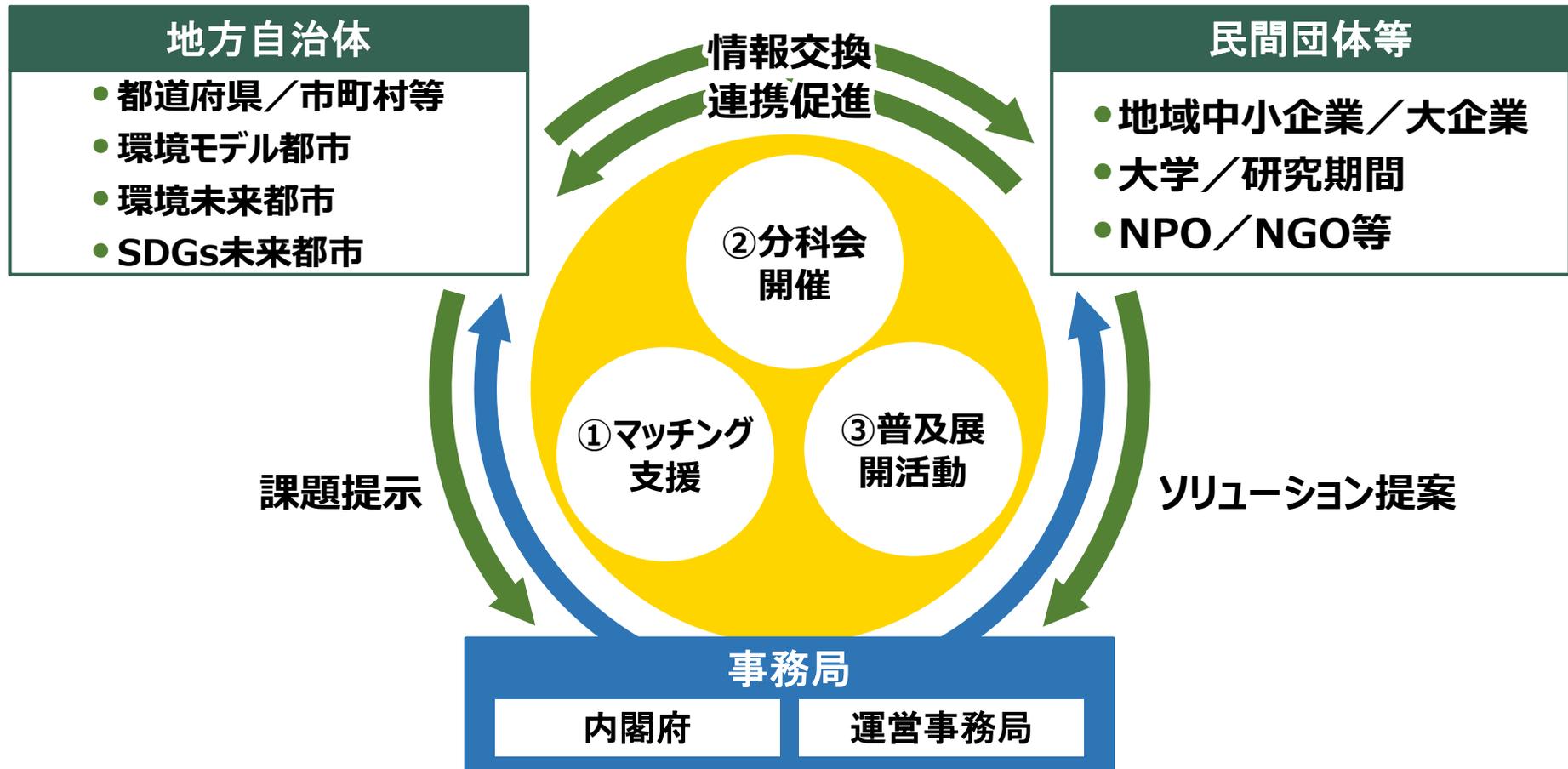


平成30年8月

内閣府地方創生推進事務局

# I. プラットフォームの役割

パートナーシップによる知見・ノウハウの吸収、官民連携を促進



将来像を実現するための課題と、それを解決するノウハウや知見の共有が進むよう、プラットフォームが情報共有の基盤となり、官民（官同士、民同士の場合もあり）の情報共有、ステークホルダー間の連携構築を促進。

### 1 マッチング支援

会員からの要望を受け、ノウハウを持つ会員の紹介や会員の取組を会員に共有。

### 2 分科会開催

会員の提案にもとづき、分科会を設置。

会員からメンバーを募り、会員（提案者）主催による分科会活動を展開。  
知見の共有や官民双方、それぞれの連携を促進。

### 3 普及展開活動

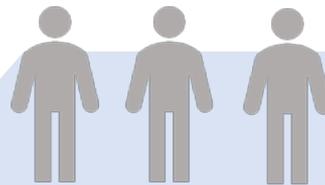
プラットフォームとして展示会への出展や、内閣府との共催による国際フォーラムを開催、後援名義の使用の承認。

## Ⅱ. プラットフォームの活動内容 ① マッチング支援

### 会員の目指す将来像を共有

会員の目指す将来像やそのための課題、ノウハウを一覧化して、会員限りで共有。

(差支えない情報に限り)



- 将来像
- 課題
- ノウハウ

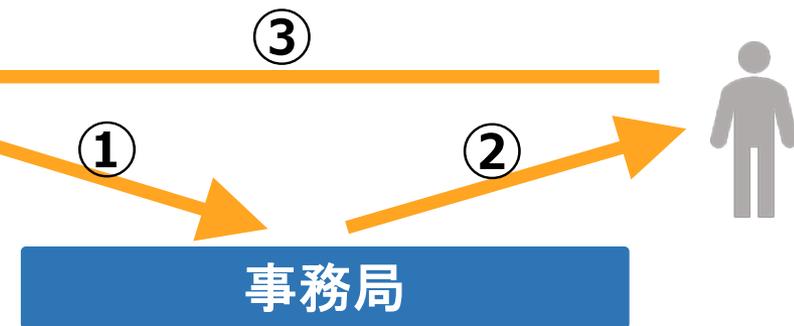
会員同士の**見える化**やプラットフォームの**見取り図**を作成

### 会員の求めるノウハウ等の探索支援

会員の課題解決に資するシーズやノウハウを持つ会員の探索を支援。



**必要な  
解決策**



- 入会時アンケート
- 将来像/課題/ノウハウ

### 会員主催のイベント情報を共有

会員が主催するイベント等のお知らせを会員に共有。



メールマガジン等で周知

事務局



後日、事務局よりご連絡いたします。

## II. プラットフォームの活動内容 ②分科会開催

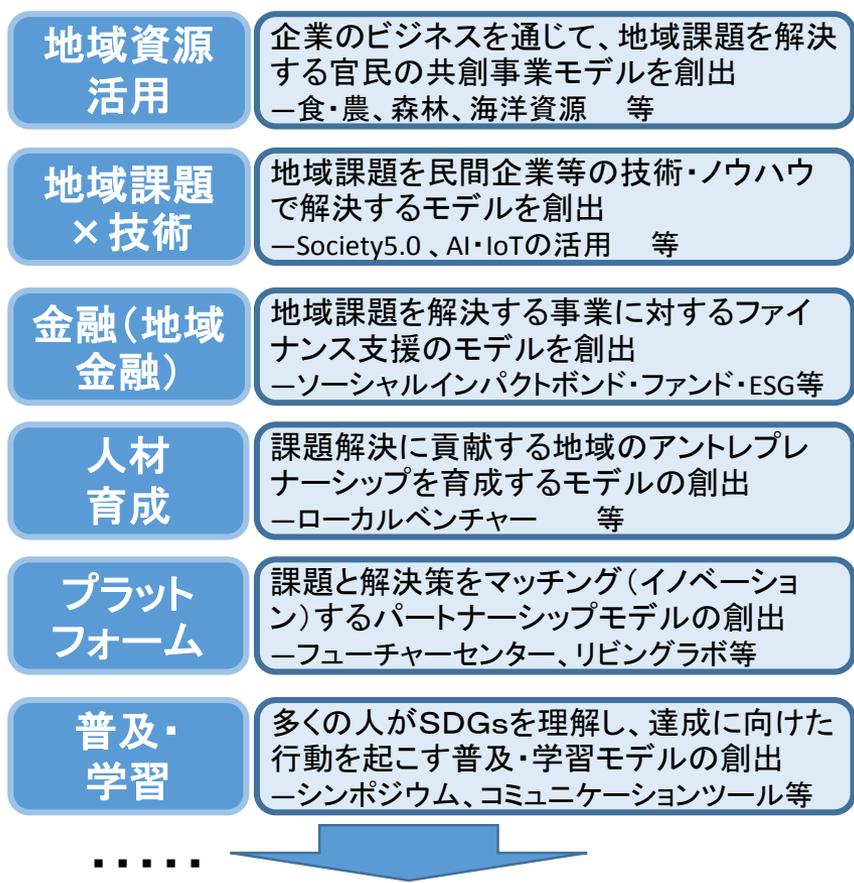
- 会員からのテーマ提案にもとづき分科会を設置。異分野連携による新たな価値の創出や、共通する課題に対する官民連携を促進、地方創生に資するプロジェクトを創出。

### 将来像からバックキャストのテーマ例



多様な主体の水平的連携により、新たな価値創出及びコンソーシアムの形成

### 課題解決に向けた共通の課題のテーマ例



官民連携で課題解決を図るプロジェクト創出

### 通期で提案可能

分科会申請者は「分科会実施計画書案」を作成・提出

#### 「分科会実施計画書案」記載内容

- 分科会の目的
- 解決したい課題
- 具体的な活動（予定）
- 期待する成果
- 参加会員に求める期待（参加頻度や実作業への協力）
- 実施スケジュール（プログラム）など



事務局

分科会メンバー  
募集

### ～2019年3月まで

分科会長はメンバーと協議し活動内容を決定・実施

- 設立総会以降、各分科会メンバーで実施方針を協議
- 開催内容や開催スケジュール、開催場所は、分科会で決定
- 計画にそって、分科会活動実施
- 2月末には活動報告を提出

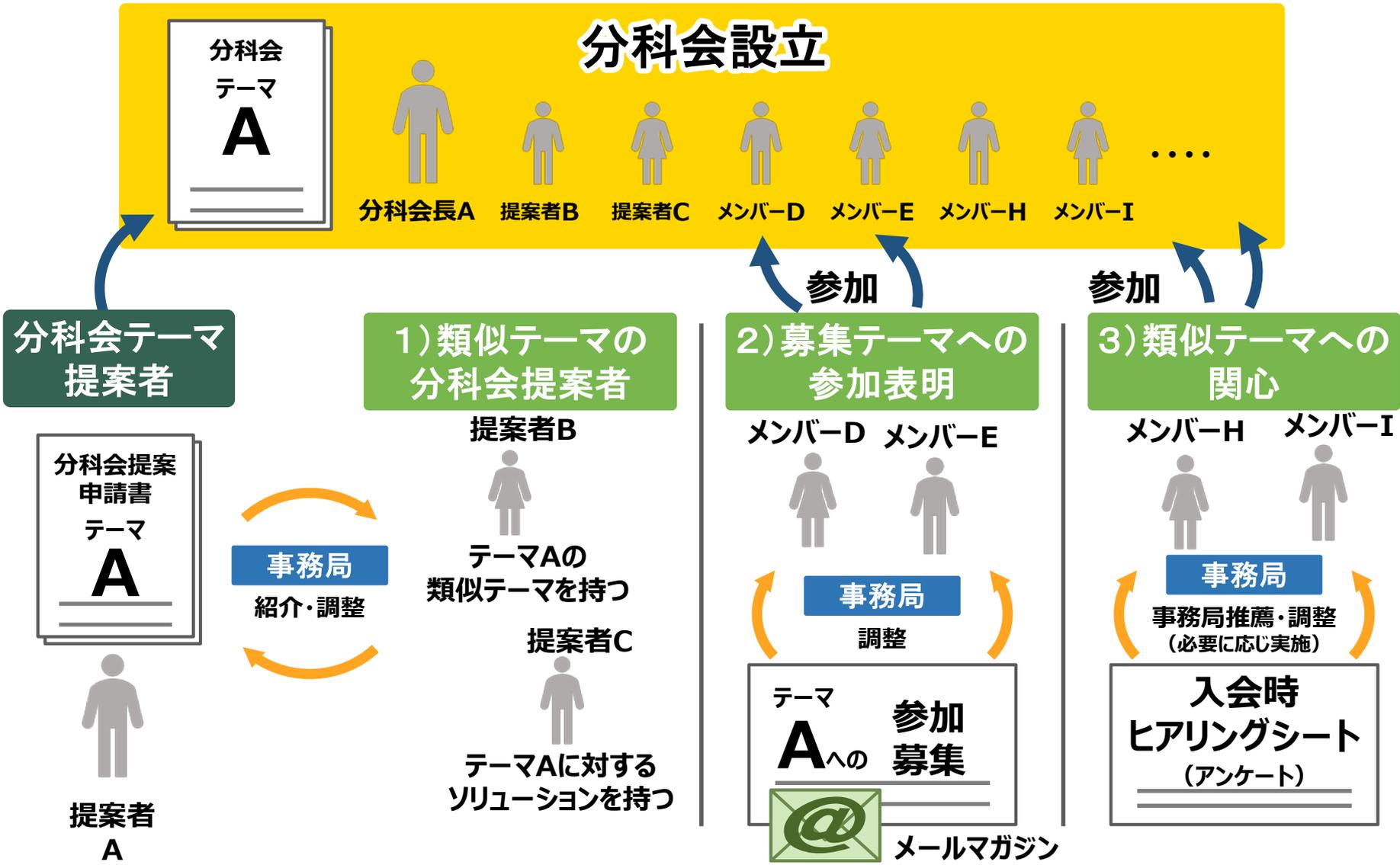


分科会

会員

# Ⅱ. プラットフォームの活動内容 ②分科会開催～手続きの流れ～

運営事務局は分科会設立を支援



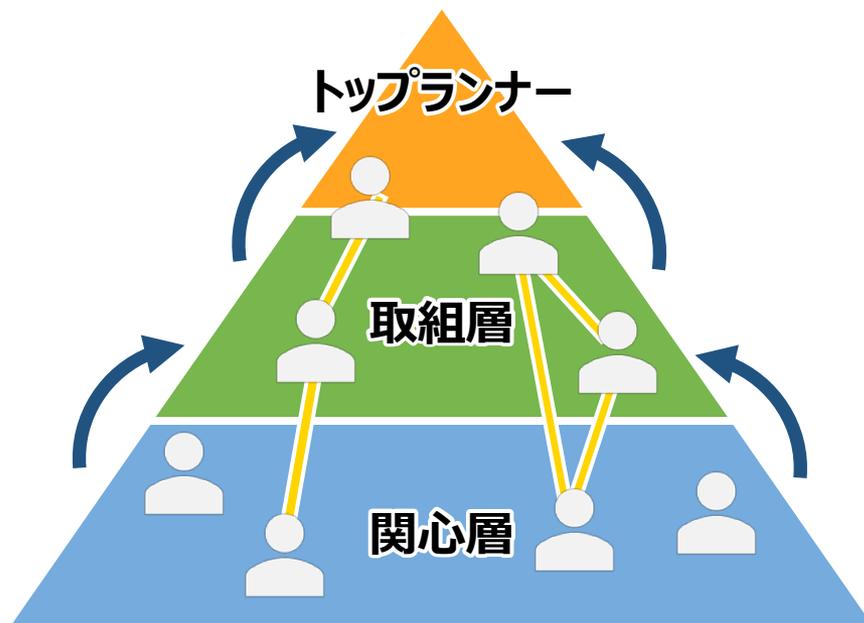
### マッチング研究会

**本日** 総会後のキックオフイベント

自治体や分科会提案者による**プレ分科会**の実施

#### 目的

- ① 関心層から取組層、取組層からトップランナーへのステップアップを促すこと。そのため、自分たちの「SDGsとは何か」を考える機会とすること。
- ② 各層や層を超えたマッチングを促すこと（関心分野、課題、悩み、ニーズとシーズ等）意欲や興味・関心をつなげること。



- 登壇者より取組の紹介や分科会のご提案。
- テーマごとに3ブースを設置。



配布資料の「**マッチング研究会**」資料を参照ください。

## Ⅱ. プラットフォームの活動内容

## ②分科会開催～プレ分科会～

		ブースA	ブースB	ブースC
15:45～ 15:50	全体 説明			
15:50～ 16:25	第1 セッション	健康QOLまちづくり	先端技術とスマートシティ	地域実践①
		<b>①株式会社ロスフィー</b>  都市・街に“森”が広がり人々が くつろぎ安らぐ社会の実現	<b>①PwCコンサルティング合同会社</b>  先導的デジタル技術・まちづくり開発 手法による地域創生分科会	<b>①日野市</b>  社会と産業のイノベーション創出に 向けた日野市の取組
		<b>②NPO法人ユニグラウンド</b>  資源360° 持続可能なまちづくりの実現 資源の有効活用を考える	<b>②ESRIジャパン株式会社 + 国際航業株式会社</b>  日本版SDGsの指標ならびにGISを 活用した可視化検討	<b>②鯖江市</b>  居場所と出番づくりによる、誰一人取り 残さない持続可能な社会を目指して
16:25～ 16:35	移動・ 休憩			
16:35～ 17:10	第2 セッション	資源循環	SDGsを理解	地域実践②
		<b>③株式会社モノファクトリー</b>  モノのトレーサビリティと、循環を前提と した社会基盤（プラットフォーム）の構 築	<b>③株式会社ビジネスコンサルタント</b>  SDGs学習におけるツール開発と 学びのコミュニティづくり	<b>③株式会社博報堂</b>  SDGsの九州における社会実装化を 「デザイン開発」によって目指す
		<b>④バリュードライバーズ株式会社</b>  食料廃棄の半減を目標として 多様なアプローチを見出す	<b>④凸版印刷株式会社</b>  自治体SDGs推進におけるニーズの 可視化、情報発信の在り方について	<b>④モバイルソリューション株式会社</b>  地方創生の為の地域エネルギー ビジネスの創出
17:10～ 17:15	閉会挨拶			

 分科会提案者による取組紹介や分科会活動紹介

 自治体によるSDGsの取組紹介

1

## エコプロ2018への出展

[第20回] SDGs時代の環境と社会、そして未来へ  
2018年12月6日（木）～8日（土）

2

## 国際フォーラムの開催

テーマ：未定  
2019年2月予定

3

## 後援名義の使用の承認

会員が主催するセミナー等へのプラットフォーム名義での後援

4

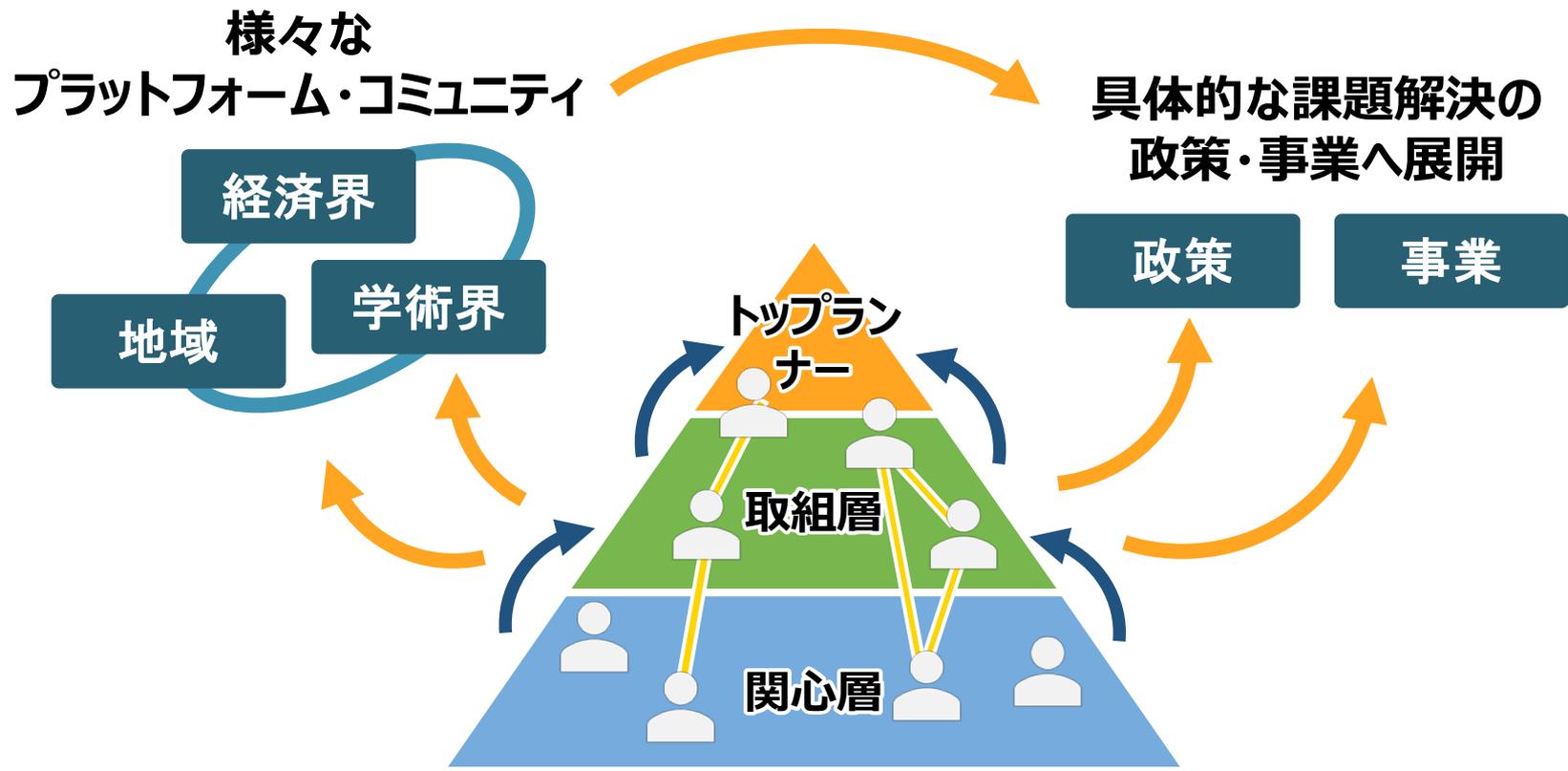
## 会員による情報共有

会員が主催するイベント等の情報を事務局を通じて周知

# Ⅲ. 活動の発展に向けて

本プラットフォーム内のパートナーシップ促進に加え、全国で立ち上がりつつ様々なコミュニティ、プラットフォームとの連携も見据え、全国的な取り組みへと発展・展開を期待。

## SDGsの達成に向けた取組を通じた地方創生の実現



地方創生SDGs官民連携プラットフォーム  
多様なステークホルダーを擁しパートナーシップを構築

# 平成30年度の活動内容

# 分科会の開催（設立予定の分科会一覧）

団体名	テーマ
株式会社ロスフィー	都市・街に“森”が広がり人々がくつろぎ安らぐ社会の実現
NPO法人ユニグラウンド	資源360° 持続可能なまちづくりの実現 資源の有効活用を考える
株式会社モノファクトリー	モノのトレーサビリティと、循環を前提とした社会基盤（プラットフォーム）の構築
バリュードライバーズ株式会社	食料廃棄の半減を目標として多様なアプローチを見出す
PwCコンサルティング合同会社	先導的デジタル技術・まちづくり開発手法による地域創生分科会
ESRIジャパン株式会社 + 国際航業株式会社	日本版SDGsの指標ならびにGISを活用した可視化検討
株式会社ビジネスコンサルタント	SDGs学習におけるツール開発と学びのコミュニティづくり
凸版印刷株式会社	自治体SDGs推進におけるニーズの可視化、情報発信の在り方について
株式会社博報堂	SDGsの九州における社会実装化を「デザイン開発」によって目指す
モバイルソリューション株式会社	地方創生の為の地域エネルギービジネスの創出

# 普及展開活動の実施

2018年度

9月

10月

11月

12月

1月

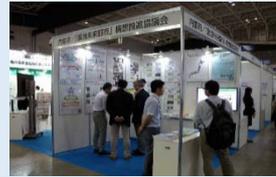
2月

3月

## ①エコプロ2018への出展

【第20回】SDGs時代の環境と社会、  
そして未来へ

2018年12月6日(木)～8日(土)



「環境未来都市」構想の普及  
を行う協議会ブース (2017)



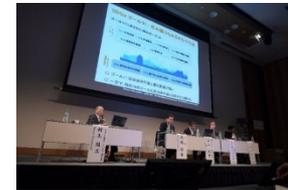
## ②国際フォーラムの開催

テーマ：未定

2019年2月予定



国際フォーラムの様子  
(2017)



パネルディスカッション



## ③後援名義の使用の承認

会員が主催するセミナー等への  
プラットフォーム名義での後援

随時



## ④会員による情報共有

会員が主催するイベント等の情報を  
事務局を通じて周知

随時

